

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	9	
事業名	町単独道路整備事業	会計 一般	款 8	項 2	目 3
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施策	9-2 道路の整備・管理	係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	町単独費にて道路整備を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	町道改良率	62.4			%			62.3
2	道路整備に関する満足度	-			%			↑	
3									
4									
5									
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）			令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			37,046		33,380			23,012	
財源 内訳	直接事業費A		33,878		30,212			18,920	
	うち一般財源		33,878		30,212			1,920	
人件費（千円）B			3,168		3,168			4,092	
内訳	一般職員（人・千円）		0.48	3168	0.48	3168	0.62	4092	
	臨時職員（人・千円）								

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	費用対効果を勘案し、道路整備の箇所を選定する。	③取組の課題	国からの交付金対象外の道路整備事業であることから、財政状況も十分考慮する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	改良の必要な2路線について、改修工事を実施し完了した。	④今後の改善計画	費用対効果等を勘案し、道路整備の箇所選定を行う。